

# たいない

議会だより

No.87

令和7年 12月12日  
(2025年)

さかうえ あいね  
【題字】坂上 藍音 さん

鉾江在住の近さんファミリー

左から

翠奈(すすな)さん6歳

青隼郎(せいじゅうろう)さん3歳

朱奈(あすな)さん8歳



決算審査 .....	2～5ページ
一般質問(8人) .....	6～13ページ
議決結果一覧 .....	14ページ
賛否が分かれた議案 .....	15ページ
常任委員会審査 .....	16～17ページ
視察報告 .....	18ページ
議会モニター会議 .....	19ページ

## 胎内市議会

Instagram

フェイスブック

行政情報発信  
アプリ マチイロ

ホームページ





# -第3回定例会-

# 令和6年度決算を認定

## 一般会計 決算

令和7年第3回定例会は、10月8日から11月4日までの28日間にわたり開催されました。

令和6年度の一般会計決算の状況は、歳出では、前年度比11.6%増の総額218億561万4千円となりました。

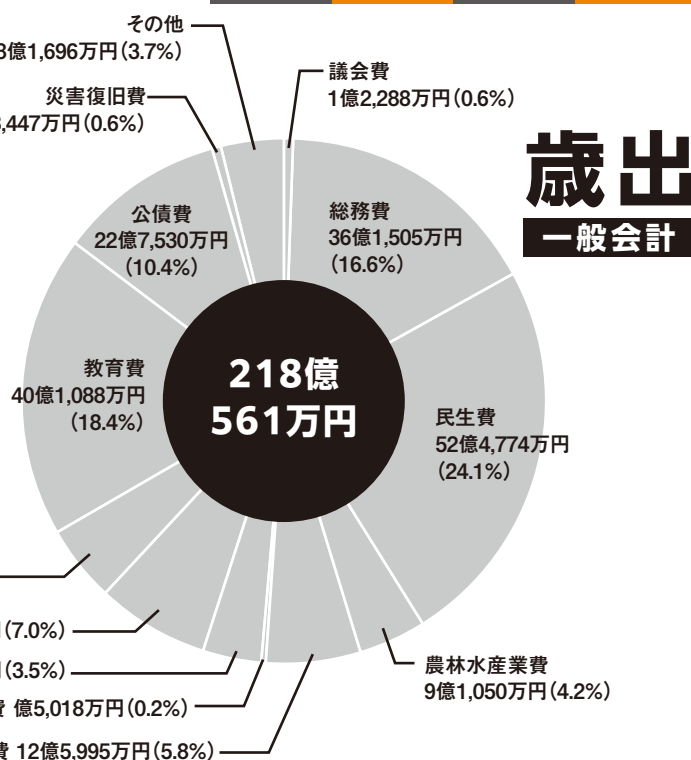
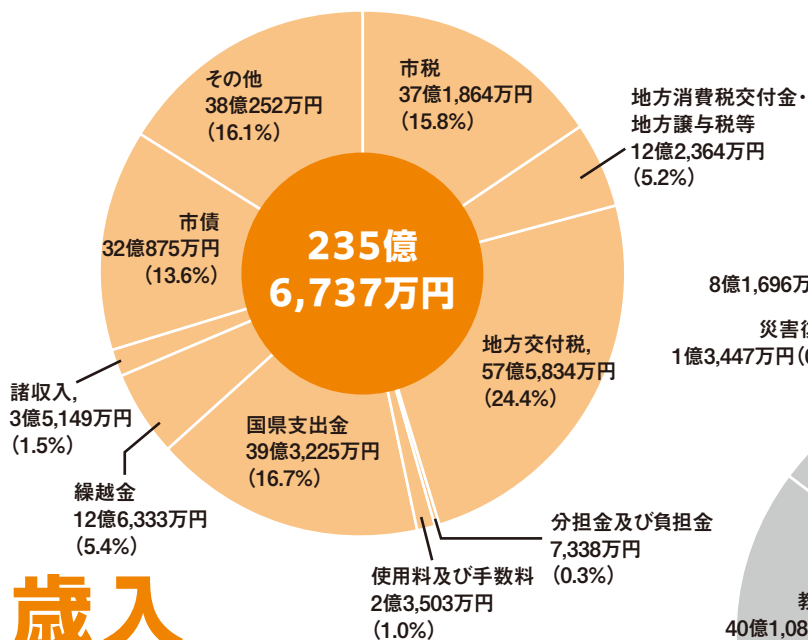
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94.2%で、前年度より4.4ポイント低下しましたが、今後も公債費が増加傾向のため、地方債の借入額の適正な管理や、扶助費の適正な執行、経費抑制が求められます。

歳出総額

可決

218億  
561万円

## 一般会計 決算状況



各会計の決算状況と採決の結果

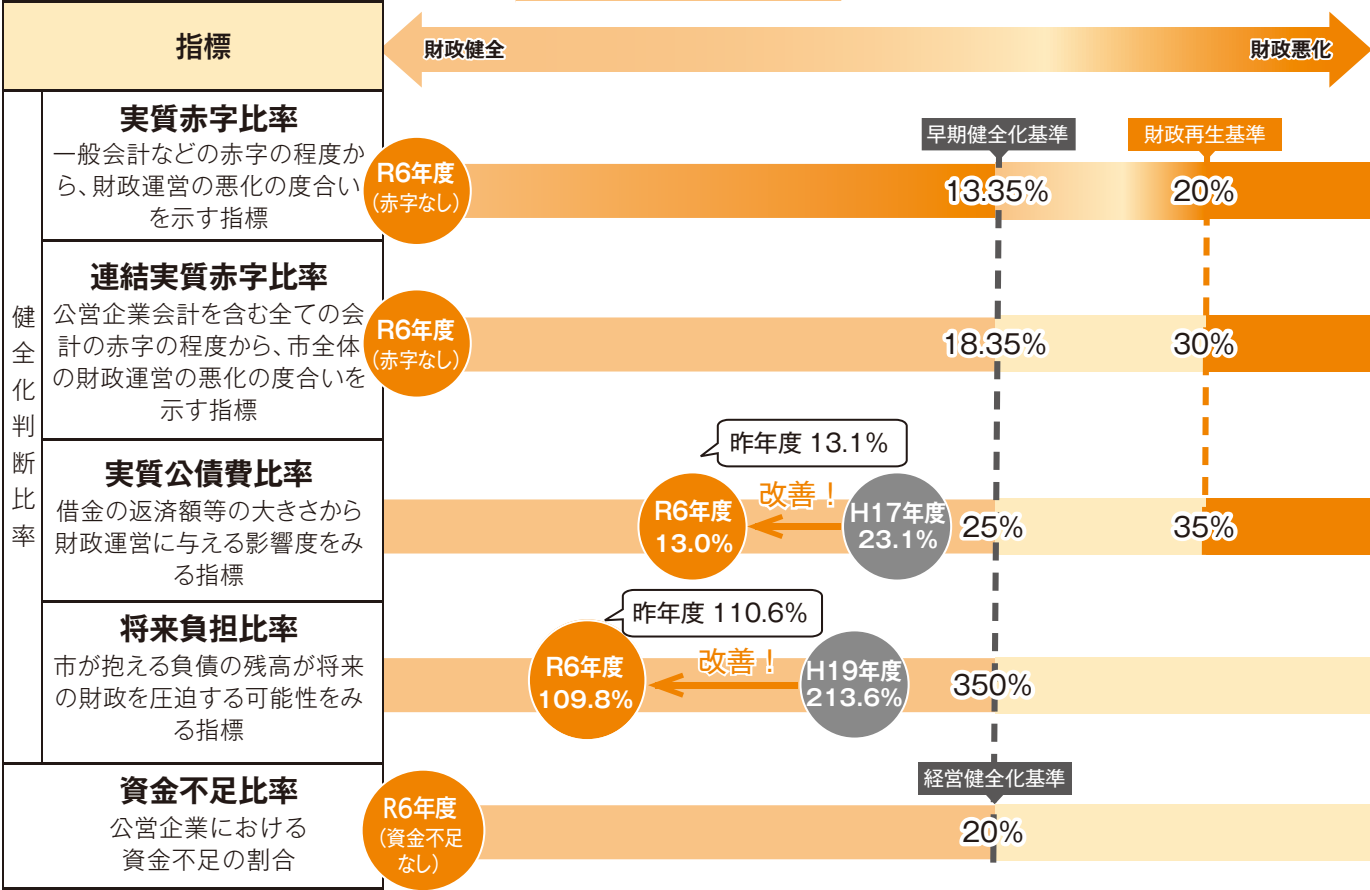
会 計		歳 入	歳 出	採決結果
一般会計		235億6,737万円	218億561万円	認定
特別会計	国民健康保険事業	32億9,000万円	31億8,015万円	認定
	後期高齢者医療	4億860万円	3億9,896万円	認定
	介護保険事業	38億1,109万円	36億6,643万円	認定
	黒川診療所運営事業	3,932万円	3,791万円	認定
	地域産業振興事業	1億8,699万円	1億8,610万円	認定
	鹿ノ保発電所運営事業	9,379万円	7,258万円	認定

会 計		収益的収支		資本的収支		採決結果
		収 入	支 出	収 入	支 出	
公営企業会計	公共下水道事業	11億5,483万円	9億2,238万円	4億3,896万円	9億4,479万円	認定
	農業集落排水事業	7億134万円	5億6,325万円	5億6,176万円	8億1,832万円	認定
	水道事業	6億9,917万円	5億7,201万円	2億3,429万円	5億1,225万円	認定
	簡易水道事業	2億661万円	1億7,646万円	3,777万円	9,401万円	認定
	工業用水道事業	1,205万円	1,053万円	141万円	141万円	認定

※1万円未満は端数調整のため、合計額が合わない場合があります。

健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政が健全かどうかを示す「健全化判断比率・資金不足比率」は、  
全ての指標で「健全」

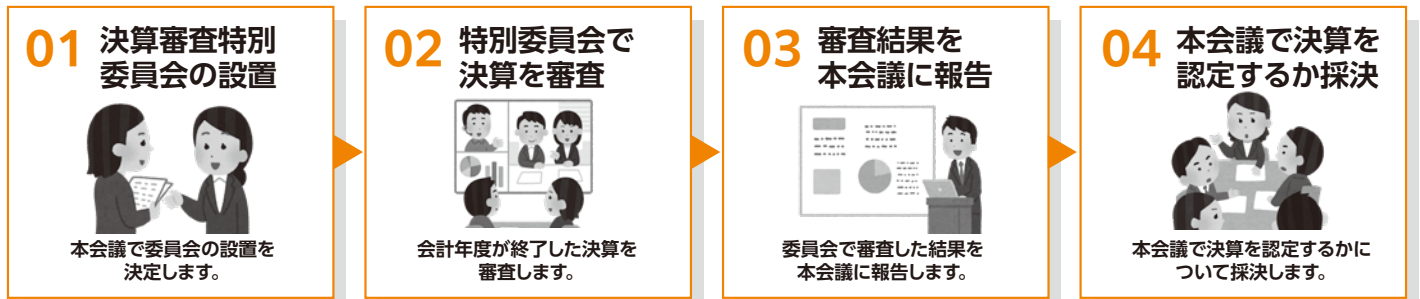


# 決算審査特別委員会

令和6年度一般会計をはじめとする12会計の決算について、議長と監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、10月27日・28日の2日間にわたり審査を行いました。主な質疑を紹介します。



## 決算審査の流れ



## 一般会計 総務費

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>質</b> キャッシュレス決済の利用数全体の実績はどのくらいか。</p> <p><b>答</b> 利用数4千833件で一番多いのは樽ヶ橋遊園で、これが約2千800件である。</p> | <p><b>質</b> キャッシュレス決済の利用状況は、従来の決済方法の何割に相当するか。</p> <p><b>答</b> 市民生活課の窓口に関して言えば、この利用数は従来の決済方法の4.2%ほどに相当する。</p> | <p><b>質</b> 住民票の写しなどコンビニ二交付システムについて、市内で対応している店舗数は、市内11店舗で利用されている。</p> <p><b>答</b> コンビニ二交付の1件あたりのシステム手数料は、システム運営側に支払うのが1件あたり180円、コンビニ二側に支払うのが1件あたり117円である。</p> |
|--|--|---|

**質** 令和6年度ふるさと納税の返礼品の内訳はどのような構成か。

**答** 返礼品では、米が98%、99%を占めている。

**質** ふるさと納税に関する主な経費にはどのようなものがあるのか。

**答** 主な支出として、返礼品にかかる経費の他、決済にかかる手数料やふるさと納税業務委託料がある。



ふるさと納税返礼品

## 民生費

**質** 第2子以降の保育料に関する軽減制度について、その内容は。

**答** 第2子は半額、第3子以降についても保育料の優遇制度（保育料を無料・一定額以下）がある。



上の所得がある場合は半額）を設けている。

## 質

令和6年度の実績において、その優遇制度を利用して、いる児童の人数は。

## 答

第2子の半額の対象となっている児童は42名、第3子以降の対象となっている児童は21名である。

## 衛生費

## 質

空き家バンクの登録件数は何件か。

## 答

空き家バンクに登録されているのは11件である。その他、土地も10件が登録されている。

## 質

空き家バンクへの登録が進まない主な理由は何だと考えているか。

## 答

主な理由としては、家の中に残置物がある、あるいは物置として使用しており、その処分や利用方法に悩んでいるケースがほとんどである。

## 農林水産業費

## 質

令和6年度の熊の捕獲実績は。

## 答

実績は11頭である。

## 質

猿や鹿の捕獲活動に対しては補助金が出ているが、熊の捕獲には補助金が出ているのか。その理由は。

## 答

農作物の被害は特にならないため、有害鳥獣としての補助金の対象外となっている。熊は指定管理鳥獣という位置づけであり、市が猟友会にお願いし、駆除している状況である。

## 土木費

## 質

入居率の低い古い市営住宅の修繕は行われているのか。

## 答

黒川や若松町、長橋などの入居率が低い古い市営住宅については、修繕は行っていない。これらの住宅は政策空き家という位置づけであり、古い建物

から順次壊していくという方針を、公営住宅等長寿命化計画の中で触れている。

## 防災費

## 質

自主防災組織育成事業補助金について、令和6年度の実績と、補助金の使途は。

## 答

自主防災組織の活動支援や結成の支援として補助金が交付されており、令和6年度は23団体に対して交付した。補助金は、リヤカー、ポータブル電源などの購入に利用された。

## 特別会計

## 国民健康保険事業特別会計

## 質

医療費が増加している主な要因として何が挙げられるか。

## 答

医療の高度化である。これにより、薬剤などの一つの単価が高額なものに増えてきている。

## 公営企業会計

## 水道事業

## 質

起債の返済額の将来推移はどのような見込みか。

## 答

令和4年度を一旦ピークとして、現在は徐々に落ちてきているところであるが、令和8年度は少し上がり、またその後、徐々に落ちていく見込みである。

## 質

運転資金の確保という観点から、借入れを多く起こしすぎているか。

## 答

単年度で現金があるからといって工事費に充ててしまうと、翌年度以降の運営に支障をきたす。起債を借りて長期で返済しながら運営していくのが企業会計の一般的な運営方法だと理解している。



# 生活保護受給者の実態について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



羽田野 孝子 議員

**議員** 生活保護受給者の実態は。

**市長** 生活保護世帯は126世帯154人。年代別では20歳未満が7人、20～30歳代が10人、40～50歳代が42人、60～70歳代69人、80歳以上が26人。市の総人口に占める受給者の割合は0.6%である。

**議員** 令和6年度生活保護扶助に関する収支決算は。

**市長** 歳出決算額は約2億1千256万円。その財源としては国庫負担金が約1億6千96万円、県負担金が約52万円、市の一般財源が約4千238万円であった。

**議員** 生活扶助費の国負担割合と扶助費の内訳は。

**福祉介護課長** 負担割合は、国庫補助金として4分の3であり、内訳では医療扶助が一番多く5割を占めている。

**議員** 車所有の条件と実態は。

**市長** 利用目的が通勤や通院であり、かつ公共交通機関の利用が困難な地域に居住もしくは勤務地がある場合、または障がい者のために利用する場合等で現在11世帯に保有を認めている。



**魅力的な公園を新設できないか**

**議員** 5月の市民との意見交換会で「子どもが喜んで遊べる

公園がないので新発田市五十公野公園や関川村の道の駅へ連れて行っている。市内で気軽に行ける魅力的な公園をつくれな

ないか」の意見があった。もっともな意見と思

**市長** 市民ニーズがあることは承知しているが、今整備を進めている生涯学習施設に子供が自由に遊べる大型遊具を設置できるか検討している。

**議員** 生涯学習施設が完成するまでの間、大型遊具を早急にひとつ置けないか。

**市長** 早急に大規模なものを造るのは難しい。生涯学習施設での検討や樽ヶ橋遊園の割引見直しなどで配慮していく。



新発田市五十公野公園

**一人暮らし老人の実態について**

**議員** 一人暮らし老人の実態と緊急通報装置について伺う。

**市長** 一人暮らし老人は3月末時点で80歳代が45人、90歳以上が141人。市の緊急通報装置事業を利用している人は136人。一般の人が設置した場合の初期費用は4万8千400円、利用料は月額5千60円からである。



緊急通報装置ペンダント



# スマホ保険証の普及と利用促進について



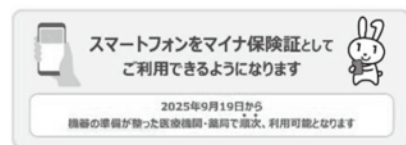
渡辺 栄六 議員

**議員** 本年9月19日より、マ

インバーカードと健康保険証を一体化した、いわゆるスマホ保険証の運用が開始されたが、市内の医療機関や薬局においてスマホ保険証の対応状況と、医療機関等との連携強化に向けた市の取り組みを伺う。

**市長** 対応している医療機関等は制度開始から間もないこともあり、9月末時点で7か所であるが、受診された方が戸惑うことがないよう、市報等を通じて医療機関等の導入状況等を周知するとともに、制度の内容及び利便性

の啓発に努めていく。



厚 労 省 より

## 小中学校における熱中症対策について

**議員** 子どもを熱中症から

守り、災害時の避難所を整備するため、国の補助制度なども活用しながら、計画的かつ早期に小中学校体育館へのエアコン整備を進めていくべきと考えるが、整備計画と見通しを伺う。

**教育長** 財政状況や国の補助制度の活用可能性を踏まえながら、実現に向け、計画的な整備方針を検討していく。

**議員** 学校内に給水機を設置することで、児童生徒がい

つでも水分補給できるよう、学校への給水機の設置を進めていくことが必要ではないか。  
**教育長** いずれの学校においても現状の設備で対応できている、新たな給水機を設置する予定はないが、学校や保護者の声を伺いながら、施設環境の点検に努めていく。



市内の小学校体育館

## 投票環境のさらなる充実に向けた取組みについて

**議員** 投票所まで足を運ぶ

ことが困難な有権者も少ない。移動手段が困難な地

域などを中心に移動期日前投票所を導入する考えはないか。

**市長** まずは実施自治体のデータを十分に見極めながら、各種課題の解決策等を勘案した上で方向付けをしていく。

**議員** 高齢者や障がいのある方々が円滑に投票を行えるよう、投票支援カードやコミュニケーションボードの導入をすべきでないか。

**市長** 先進地の事例を参考に導入に向けて準備を進めていく。



# 生涯学習施設について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



丸山 孝博 議員

**議員** 4月から6月に実施したパブリックコメントの結果について市長はどう受け止めているのか、その中で建設候補地についての市民の意見をどう受け止めているのか。

**市長** 嘉平山を候補地とすることへの懸念や、別の場所を求める声のほか、事業費に関するものなどの指摘があった。今後、市民全体の利用ニーズ、地域ごとの多様なニーズにも十分配慮しながら、慎重に検討を進める。

**議員** 市長選挙では、建設場所について大きな争点になった。相手候補は「嘉平山以外

で」と公約し、投票した半数近い有権者が支持したが、これをどう受け止めているのか。

**市長** 嘉平山以外を支持する声の割合がそのまま得票数に反映されたものとは認識していない。

**議員** 市長選において地元紙が実施した出口アンケートで建設適地として「嘉平山」に回答した人は、9.6%であったが、これをどう受け止めているのか。

**市長** 丁寧な聞き取りがなされていたとは考えづらい。この調査結果のみをもつて何らかの言及をすることは適切ではないと考える。



嘉平山

## 国保税の負担軽減を

**議員** 1世帯当たり9万円、1人当たり6万円にもなる基金を取崩し、物価高騰の中、負担が重くのしかかっている加入者の保険税引き下げに活用すべきではないか。

**市長** 現状このぐらいが適切相当であると認識している。ただし、今後新たに余剰が生じた場合、現状の規模を維持しつつ、それを超える部分は保険税の低減に充てることも否定はしない。

**議員** 今回の補正予算で繰越金が増額され予備費に回された分は、最終補正で基金に積み重ねられ現状を上回ることが想定される。したがって来年度は国保税を引き下げるべきでは。

**市長** さらに余剰が出てくるようであれば、保険税を軽減するためにその原資とし

て使うことはやぶさかではない。

## 給食の無償化について

**議員** 学校給食無償化の動きは全国的に広がり、無償化を実施している自治体は30.5%にもなっており、自治体間の格差が広がっているが、現状についてどう捉えているか。

**市長** 県内の無償化は、5市町村であり、無償化は増加傾向にあると認識している。国が財源を確保し施策を示すこと、市はその動静にそって行うことが基本である。



給食



# 井畑市政3期目の市政運営について



坂上隆夫



坂上 隆夫 議員

**議員** 基本理念である市民協働、選択と集中、未来への投資について、3期目の考えを伺う。

**市長** 市民協働、選択と集中、未来への投資については、人口減少、少子高齢化等の時代背景から、その必要性は一層高まってきていると認識している。そのため、熟慮を重ねながら、先を見据えた政策を推進すべく、市民の皆様をはじめ、多様な主体と共に力を合わせて諸課題に対応していきたいと考える。また、そのような認識の下、洋上風力発電事業に象徴さ

れるような新たな価値の創造と魅力ある地域づくりを推進し、次の時代を希望のあるものとして引き継いでいくように全力を尽くしていく。



胎内市役所

**議員** 小学校の再編についての考えは。

**市長** 当面現状のまま維持できると考えている。しかしながら、昨今の出生数の加速度的減少傾向に鑑みると、いずれは小学校の再編統合を考えていかなければならない。その適正規模、再編について、地域の方々とも話し合いながら、望ましい在り方や時期を定めていきたい。

## 都市公園の在り方について

**議員** 公園によっては適正な管理が行われていないという指摘もあるが、把握はしているのか。

**市長** 都市公園の管理方法については、職員により、各公園の状況を把握確認しながら、その都度草刈りを実施しているが、雑草の繁茂する時期の重複や人員不足等により、適切な時期に草刈り作業を行うことができない場合もある。



鴻の巣公園

**議員** 現状を踏まえ、今後の都市公園の在り方についての考えは。

**市長** 委託により作業員の増員に加え、職員による作業スケジュールの立案、作業の進捗状況の確認、遅れが発生した場合の対応等といった評価と改善のプロセスを踏みながら、作業の効率化を図っていきたい。公園が子どもたちの遊び場、地域住民の安らぎのある憩いの場、レクリエーションの場として、よりよい環境となるよう、これまで以上に維持管理の質を高めていきたい。



# 小中学校の給食費について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



増子 達也 議員

**議員** 今後、給食費増額の予定はあるのか。

**市長** 米の納入価格の引上げや、その他食材全般についても価格が上昇しているのでも、価格の引き上げを検討せざるを得ないと教育委員会から報告を受けている。しかしながら、保護者負担額については、引き続き増額分を市が補うことを基本線に検討していく。

**議員** 物価上昇と実質賃金マイナスの影響で給食費の負担が非常に重く感じている世帯もあると思う。無償の範囲を広げる考えはないのか。

か。

**市長** 今後の状況を見て、拡大する必要があるかないかデータなどを踏まえながら対応を考えていく。

**議員** 仮に無償化するならば、そこに生じる障壁などはあるのか。

**市長** 無償化した場合の実害は何かというのは軽々に出てくるような問題ではない。ただし、これを市町村で行うときには、財源を考えなくてはならない。また、経済的に豊かな人も無償化するという意味合いも考えなく



学校給食

てはいけない。何を削るか、もしも借金となれば、その負担を将来の子どもたちに負わせることになる。

**議員** 無償化するならいくら必要か。

**学校教育課長** 小学校で7千600万円程度、中学校で4千200万円、4千300万円程度、合計で1億2千万円弱が必要になる。

## 有害鳥獣駆除及び緊急銃猟について

**議員** 近隣市町村の境界線を越えた場合でも緊急銃猟は可能か。

**農林水産課長** これまでも熊の出没の際には近隣市町村の担当課と連絡を取りながら対応してきた。今後とも広域で連携を図ることが大切だと考えている。

**議員** 人身事故や物損事故については市が補償してくれると思うが、自身が怪我をし

た場合は誰が補償するのか。  
**農林水産課長** 実施主体が市なので、市が責任を負い補償する。



ツキノワグマ

【その他質問】  
令和7年8月及び、9月の大雨被害について



# 市長の政治姿勢について



渡辺 宏行 議員

**議員** 市長選挙の結果について、得票差108票という僅差の勝利に対する自己評価と今後の市政運営についての考えは。

**市長** 緊張感を持った中で、これまでと同様に使命感と責任感を持って市政運営に努めていく。

**議員** 今回の市長選で、生涯学習施設の建設候補地「嘉平山」が選挙戦の争点の一つとして注目された。今後、審議会を設置して候補地の選定にあたるとしているが、公平・公正を期す意味からも、候補地ごとの特徴を整理し

た比較表を参考にアンケート調査を実施すべきと思うがどうか。

**市長** アンケートは、個々の利益、便益に偏りがちで、公共の福祉といった視点が欠如しかねない可能性がある。建設場所の選定は、統合中学校の建設場所とも整合性を図りながら考えていくことが重要であることから、今後審議会で専門家や市民の意見を深掘りし、足りない情報を補いながら望ましい方向づけを行っていく。

**議員** 議会と執行部は一定の距離を置きながら、お互いの信頼関係の中で、情報を共有し、市政運営に当たることが最も重要と思うが、ここ数年議会と執行部との関係において、情報の共有という面が希薄になってきているように思われる。市長の見解は。

**市長** これまで全員協議会を通じて、伝えるべきことは伝えてきたが、私自身が説明、情報提供の足りなかった部分は今後しっかり努めていく。



嘉平山

## 小中学校体育館のエアコン整備について

**議員** 小中学校体育館のエアコン整備は、児童生徒の熱中症予防に加え、災害時の地域住民の避難場所としての役割も担っている。市も国の補助制度を活用し、体育館のエアコン設置を検討すべきと思うが考えは。

**教育長** 教育環境の改善や機能強化に加え、災害時の避難場所としての役割も踏まえ、整備の在り方について検討していく。実施に当たっては、喫緊の課題となっている教育施策もあることから、全体の施策の中で、優先順位を整理し慎重に検討していく。あわせて財政状況や国の補助制度の活用の可能性を踏まえ、実現に向けた方向性を的確に見極めながら、計画的な整備方針を検討していく。



中条中学校体育館



# 現在の財政状況をどのように捉えているか

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



森本 将司 議員

**議員** 財政調整基金の積み増しにより、将来負担比率も大きく改善しているが、基金残高と将来負担比率の目標はどの程度か。

**市長** 基金は標準財政規模の20%、当市で20億円である。将来負担比率は令和6年度で109.8%まで低下しており、10年以内に100%を切るよう目指したい。

**議員** 家計で例えると当市は借金もあり生活が逼迫する中で、ふるさと納税という臨時収入を借金返済ではなく貯金に回している状態である。返済の考えは。



訪問理美容事業

**財政課長** 起債の中には国の交付税措置が受けられるものもある。交付税措置の少ないものから今後、返済を検討していく。

**議員** 高い経常収支比率を理由に事業見直しを行ってきたが、今回、訪問理美容事業の補助制度の復活があった。今後、廃止事業の復活の可能性はあるのか。

**市長** 要望を受けた際には、社会情勢の変化や価値観の多様化、市民ニーズを踏まえて再開を検討し、復活することもあり得る。

## 熊と猿被害の対策は

**議員** 全国的に熊による被害が増加しているが、当市の目撃件数と捕獲頭数は。

**市長** 10月19日時点で目撃件数が55件、捕獲頭数が24頭である。

**議員** 本年9月より条件を満たすことで市街地での銃による熊や猪の駆除が可能となったが、全国初となった山形県鶴岡市では発見から発砲許可まで1時間以上掛かっている。許可までのタイムラグを減らす考えはあるか。

**市長** 発見から現場到着、発砲の要件に該当するかの判断等、タイムラグは必ず生じる中で減らしていけるよう努める。

**議員** 旧中条町の山沿い集落で猿による被害が増えてきている。GPSの設置などもしているが根本的な解決

には至っていない。今後の対応は。

**市長** GPS機能については利活用を周知し、組織的な追い払いにつながるよう努める。状況に応じて市職員による追い払いや猟友会による箱わなの設置で個体数を減らす取組を進める。



GPSで確認した市内の猿の位置情報



# 冷却ファン付ベスト、保冷ベストなどの貸与を



佐藤 武志 議員

**議員** 近年の酷暑日が続く

中で、スクールバスで通学していない児童生徒は、2.5 km 前後30度を超える通学路を日々歩いて登下校している。

低学年児童生徒が、安心安全に通える環境を考え、電動ファン付ベストや保冷剤付きベストなどの貸与を検討できないか考えを伺う。

**教育長** 各学校では、帽子の着用、こまめな水分補給、クーリングシエルト活用など通学路における熱中症対策などを進めてきた。今後、実効性のある登下校時の暑さ対策を進めていく。

**市長** スクールバスで通っているリスクよりも歩いて通う低学年児童のリスクは高いという認識を持つ必要はある。



## 生涯学習施設 建設について

**議員** 長年、計画され行政

が建設予定候補地として5か所【ぶれすぽ胎内周辺・中央公民館周辺・中条駅周辺・関沢地内（嘉平山）・旧柴橋

小学校」を掲げ、議会や区長に資料を提示した。

長年、議会と討議を重ね区長会に資料を提示して説明会を行い、パブリックコメントを得て来た経緯の中で、もはや結論を出せるのではないのか。私の意見として、嘉平山しか候補地は無い。改めて税金を使い外部の有識者を含めた新たな審議会を設けて決めることではない。また、多くの市民が使える施設として、移動手段を持たない市民への交通便利性の高い施設とするための考えを伺う。

**市長** 長年待ち望まれた施設であり、多くの市民にアクセスしやすい場所を念頭に、それぞれ機能を複合させた施設にするのが最も大切である。特に建設候補地等いくつかの事柄に関し、今後、設置される予定の審議会に諮問し、答申をいただきながら最終的な判断を行う。

## 開志国際高校の 運行委託について

**議員** 開志国際高校に買物

用の支援策として、市がバスを運行する委託費が計上された。本来、市民の足として支援に向けるものではないか伺う。

**市長** 開志国際高等学校・新潟食料農業大学の学生支援メニューを選び寄付を頂いた方の意思を尊重し、かねてより開志国際高等学校からの要望のあった学生の移動支援に充てたものである。



## 【その他質問】

洋上風力発電事業について

# 令和7年 第3回定例会議決結果

## 全会一致で可決(同意)された議案

### 令和7年度補正予算

- 一般会計補正予算(第3号)【専決】
- 一般会計補正予算(第4号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 黒川歯科診療所運営事業特別会計補正予算(第1号)
- 地域産業振興事業特別会計補正予算(第2号)
- 鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算(第1号)
- 水道事業会計補正予算(第2号)
- 一般会計補正予算(第6号)

### 条例の一部改正

- 火入れに関する条例の一部を改正する条例
- 企業設置促進条例の一部を改正する条例
- 下水道条例等の一部を改正する条例

### その他

- 財産の無償貸付について
- 動産の取得について
- 令和6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 令和6年度簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

### 人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任の承認について【佐藤守氏(新栄町)】
- 教育委員会委員の任命について【森田寿美子氏(大出)】
- 副市長の選任について【須貝実氏(北本町)】
- 監査委員の選任について【熊谷親史氏(宮川)】

### 議員提出議案

#### 〈選挙管理委員会委員の選挙(当選者)〉

- 倉島禮四(東牧)・藤井美保子(西栄町)・加藤宗俊(笹口浜)・五島衛次(大出)

#### 〈選挙管理委員会委員補充員の選挙(当選者)〉

- 小野正敏(本町)・佐藤新一(坪穴)・佐藤八重子(築地)・水澤ひとみ(菅田)

#### 〈意見書〉

- 私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書(国・県)【提出者:坂上清一議員】
- 30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書【提出者:渡辺雅茂議員】

※令和6年度各会計決算の認定については2ページに記載。





# 令和7年 第3回定例会議決結果

## 賛否が分かれた議案(3件)

議員名 議案名	森本 将司	平井 孝	渡辺 雅茂	増子 達也	寛 智也	坂上 隆夫	羽田 孝子	佐藤 武志	渡辺 秀敏	坂上 清一	小野 徳重	渡辺 栄六	天木 義人	渡辺 宏行	丸山 孝博	議決 結果	賛成 ※	反対 ※
一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	3
一般会計補正予算(第5号)に対する修正案	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	否決	3	12
生涯学習施設整備推進審議会条例	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	3

※ ○:賛成、×:反対、欠:欠席

※ 議長は地方自治法第116条により表決には参加しないため、表決に参加する全議員数は15名。

## 議員討論

生涯学習施設整備推進審議会条例については、  
反対、賛成に分かれて討論が行われました。

### 反対討論

丸山孝博 議員

この条例案は、生涯学習施設の整備について、公平・中立な立場から助言・提言を得るとし、概要及び機能並びに建設候補地について、必要な調査及び審議を行い、市に答申することが目的である。

「審議会」は、新たな方針であるにも関わらず、市民にも議会にも説明はなく、その手法には違和感があり納得できない。条例案に定めた「公平・中立な立場」とは何か、また「概要及び機能」とあるが、りっぱな概要や機能が計画案としてすでに作成されているのに、さらに何を審議すると言うのか理解できない。

15人以内という少数の「審議会」に委ねるのではなく、市報で示した5つの建設候補地について、市民全体から広く多様な意見を求めることこそ必要ではないか。

例えば市民アンケートなど、市民全体が生涯学習施設についてよく考え、納得できる建設地に施設を造るべきではないか。

以上の理由から「審議会」の設置は不要であると考えてるので反対する。

### 賛成討論

渡辺秀敏 議員

この条例案に関しては、どのような施設をどこに整備していくのが望ましいかを公平中立な立場の方々に審議を尽くしてもらうためのものであり、市民ニーズに応えるためにも重要かつ必要なものであると考える。

その際には、今後予定されている統合中学校の建設場所との整合を図ることも考慮していかなければならない。しかし、反対討論においては、熟議に蓋をして性急に結論だけを求め、方向付けを行おうとする印象が強く感じられる。また、新聞報道やパブリックコメントにおいては、とかく建設場所のみに関心が寄せられている傾向が見受けられるが、審議会を設置して様々な意見を総合的に考え併せ熟議を尽くしていくことはしかるべき大切なプロセスと考える。

なお、新たな組織を立ち上げ、市に対して答申を行ってもらうことは、既に6月定例会において市政報告で触れており、周知のところである。

## 胎内市生涯学習施設 整備推進審議会条例

生涯学習施設整備について、市民の多様な意見や専門的知見をもとに、公平・中立な立場から助言・提言を得るとともに、整備を円滑に推進していく為の設置について。

**質問** 委員構成に、その他市長が適当と認める者があるが、どういう基準で選考するのか。

**答弁** 様々な分野で活躍されている市民または団体の代表者、地域活動を熱心に行っている方から選任したい。

**質問** 公平・中立な立場から助言・提言を得るとあるが、どんな基準、何をもって保たれるのか。

**答弁** 偏った意見だけではなくという意味で公平・中立として表現している。基本計画案を取りまとめ、そこから導いて有力候補地で

はないかと伝えてきたが、行政だけで決定するのではなく、市民、有識者による今一度の審議を考えている。

**質問** 果たしてどこまで中立という感じになるのか、市民が納得できる議論は必要。候補地が決まらない中で他の案件を決めるのは非常に難しいと思うが。

**答弁** まずは場所を、概要、機能も踏まえた中で決めていただく、そのような審議会の進め方を考えていきたい。

起立採決の結果、起立多数で可決すべきと決定した。

付託された他1件についても可決すべきと決定した。

## 国民健康保険事業 特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6千773万3千円を追加し、その総額を30億374万8千円とするもの。歳出では総務費において子ども子育て支援金制度が令和8年度から施行されることに伴いシステム改修委託料を計上。諸支出金では前年度の精算分として保険給付費等交付金返還金及び一般会計繰り出し金を計上。歳入では財産収入及び繰越金を増額し、国庫支出金を計上。――

**質問** 今回の改修で具体的にどのような機能を新設・変更するのか。

**答弁** 現在の課税システムに新たに徴収する内容を一緒に合算して徴収できるように改修する。

**質問** 各自治体がそれぞれシステム改修する業者に依頼して行うことになるが、入札はプロポーザル方式で行うのか。

**答弁** 今契約している企業と随意契約となる。

**質問** 子ども・子育て支援金制度の内容は。

**答弁** 国が、児童手当や児童扶養手当、妊娠・出産、保育園、育児休業給付や時短勤務に充てる予定との国の説明である。まだ徴収の方法は決まっていすが、大体一人当たり月300円ぐらいで年間4千円弱程度になるような配分で計算されると考えている。

付託された他3件についても可決すべきと決定した。





## 常任委員会審査

### まちづくり常任委員会

#### 企業設置促進条例の一部を改正する条例

固定資産税の課税免除期間を変更するもので、新潟中条中核工業団地、または市営工業団地に新設、移設、増設する場合に5年間の課税免除を3年間へ短縮するもの。

質問 企業誘致に影響は。

答弁 新潟中条中核工業団地の空き区画は6区画あるが、全体の80%はすでに企業誘致済みで、多くの影響はないと捉えている。

質問 進出することをためらう材料にならないか。

答弁 県内市町村の減免年数で、5年間はほぼない。県内のライバルから遅れを取ることはない。

#### 財産の無償貸付について

胎内高原ビール園の施設について

て、大規模改修が必要で多大な費用を要することから、今後のあり方を協議する一方、株式会社エコープレミアムブルーイングと協賛を重ねてきた。その結果、本施設を利用したい旨、申し出を受け、5年間無償貸し付けを行うもの。

質問 機械が老朽化して大規模改修が必要のようだが状況は。

答弁 新たな事業者は、自社で手直しをしながら継続していくため、市の負担はない。

質問 製造方法や販路なども引き継ぐのか。

答弁 そのまま同じ製造方法で商品を引き続き作っていく。卸販売になるが、販売店は全国シェアで約3万人の会員を対象に販売していく。

付託された他7件についても可決すべきと決定した。



胎内高原ビール園

## 胎内市生涯学習施設の整備に関する要望書を市長へ提出

生涯学習をはじめとする市民活動の拠点整備に向けて、建設から60年以上経過し、老朽化が進んだ中央公民館(1960年建設)と図書館(1958年建設)の機能を複合的に備えた生涯学習施設の建設を望む声が徐々に大きくなる中で、市では平成29年度に庁内において「胎内市生涯学習施設検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、両施設の整備方針について検討を重ねるとともに、市民の望む生涯学習施設についての意見を取りまとめるため、令和元年8月に「胎内市生涯学習施設整備検討委員会」を設置しました。

検討委員会では、近隣先進地の視察や市民から意見を聴くための市民参加型ワークショップを開催するなど施設整備について検討を重ね、令和5年3月に「胎内市生涯学習施設整備基本構想」を策定、その後、令和7年3月には基本構想に基づき「胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)」が策定されました。

一方、胎内市議会においては、平成26年に生涯学習センターの必要性についての議論が始まり、これまで多く

の議員が会派代表質問や一般質問に取り上げ、市の考えを質問してまいりました。また、議会が主催する「市民との意見交換会」や「女性委員・会員等との意見交換会」においても、生涯学習施設の整備に関し、建設候補地や施設の機能、交通手段等に対する意見が多く寄せられており、市民の関心の高さがうかがえます。

今後は、有識者や施設利用者、子育て世代、公募委員などで構成される審議会を設置し、施設の概要、機能及び建設候補地等について諮問・答申を経て市として最終的な決定をしていくとしています。

つきましては、胎内市生涯学習施設の整備にあたっては、多くの市民から親しまれ、喜んでいただける生涯学習施設の実現のため、様々な手法を用いて広く市民の声を把握し、的確に反映させるとともに、議会に対し経過等について適時適切に情報提供いただきますよう要望します。

令和7年11月28日提出

# 委員会視察報告

## 総務文教常任委員会

◇視察日 7月28日

◇視察先 群馬県太田市

【小中学校体育館エアコン整備について】

近年の猛暑対策として、多くの設置要望の声と、熱中症対策を考慮し、2か年で41校全ての小中学校にエアコン設置を完了させた。災害時の避難所としての防災機能強化を図ることも目的のひとつ。断熱対応はないが、起動から30分程度で十分な冷気を確保できるところ。当市のほとんどの小中学校体育館も、災害時の指定避難所となっているため、教育環境の改善と併せて、早急に具体化するべき必要性を感じた。



◇視察日 7月29日・30日

◇視察先 神奈川県秦野市

【総合防災情報システム】

防災情報の発信について、災害状況・避難情報・避難所情報などと併せ、災害時の危険エリアや通行不可道路情報、避難所開設情報と併せて収容人数の現況なども配信される独自のアプリの説明を受けた。

【はだの歴史博物館】

歴史博物館としてだけでは来場者数が伸びないことへの対応として、キッチンカーイベントやヨガ教室など、様々なアイデアを駆使して年間で5万人近く集客しており、入場無料も相まって市民の散歩コースや休み処としても活用されている。

## 議会報編集特別委員会視察報告

◇視察日 7月1日

◇視察先 岩手県西和賀町

タイトルの「ナジヨスベ」でポップな字体やカラフルな色使いがされていた。見るとタウン情報誌やフリーペーパーにも見えてしまうデザインで若者など普段手にしないような層に向けて、読んでもらいたいという意図が汲み取れた。

内容に関しては、その時々町のトピックを特集ページで取り上げていたが、急遽ページ数が増えることもあるということで、年度途中で予算が足りなくなり補正予算を組んで対応したとのことだった。



岩手県西和賀町議会だより「ナジヨスベ」

◇視察日 7月2日

◇視察先 山形県庄内町

写真のキャプションが被写体ではなく議員のコメントになっていることが大変興味深かった。一方で主観に左右されてしまうので読み手に対して印象を押し付けしてしまうことについては注意しないといけないように感じた。写真の取り扱いについても被写体一人ひとりに許可を取っているのと、多くの人物の映る写真は使用を避けがちであるが、コンプライアンスを徹底する意識は参考にするべきと感じた。



山形県庄内町にて視察



第4回

# 議会モニター会議を開催しました



9月19日、市役所本庁舎において、4回目となるモニター会議を開催しました。  
会議の詳細は専用コードからもご覧いただけます。



## 配信動画について

動画は探しやすい、とても良いが、再生回数の推移など詳細な解析ができていれば、改善していることのPRにつながると考えるがいかがか？

今後、再生回数の推移が解析可能であれば報告したい。



## ホームページについて

小・中学生用ホームページも分かりやすくなったが、見たい人が見てください、というスタンスはもったいないのではないかな？

ホームページは小学4、5年生を想定して作成した。ページ自体の存在を知らずに終わる可能性はごもっともであるため、今後検討していきたい。



## SNSについて

長々と書いても読んでもらえないため、SNSにリンクを張るなどして、ホームページへ誘導するような工夫があるといいのではないかな？

SNS上でホームページとリンクできるように、工夫していきたい。



## SNSについて

SNSで発信する視察報告について、無機質なのではなく、参加した議員の所感や「今後、胎内市でこういう事をやりたいです」といった感想を入れてはどうか。

議員が感じたことを発信するのは市民への情報伝達において重要であるので、今後検討していきたい。





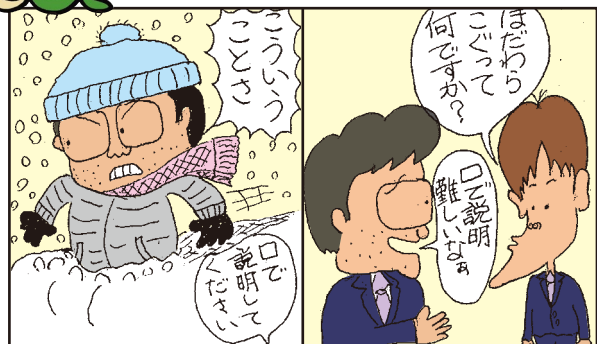
## 令和7年第4回定例会の日程 (予定)

11月	28日	議会運営委員会
12月	4日	本会議(初日)
	9日	議会運営委員会
	11日	総務文教常任委員会
	12日	厚生環境常任委員会
	15日	まちづくり常任委員会
	18日	一般質問
	19日	一般質問
	23日	本会議(最終日)

私が頑張っている事は、スキーです。目標は下越の大会で優勝する事です。今年の2月に初めて大会に出ましたが、結果は4位でした。緊張していてスピードがあまり出ませんでした。次の大会では、スピードを出して滑れるようになるために、監督やコーチが教えてくれた事を練習し、本番で完璧にできるようになりたいです。



黒川小学校 6年  
さかうえ あいね  
**坂上 藍音**  
さんの作品です。



**意味** 「ほだわら」は、方言で「やわらかい雪がたくさん積もった場所」という意味。  
主に山沿いの地域で使用

表紙の写真【近さんファミリー】

## 「胎内市の未来を担う子どもたち」

将来の夢は…

左から  
翠奈(すずな)さん6歳  
『ギャル』  
青隼郎(せいじゅうろう)さん3歳  
『サッカー選手』  
朱奈(あすな)さん8歳  
『看護師』



## 本会議をライブ中継で配信中です!

本会議の様子をYouTubeで生配信しています。詳しくは、専用コードまたは市ホームページ「市議会」をご覧ください。過去の映像もご覧いただけます。本会議の様子は、本庁舎1階ロビー及び産業文化会館(ロビー)でも視聴できます。

配信はこちら



※本会議を傍聴する場合は  
本会議当日に本庁舎5階  
にお越しください。

編集後記

9月に市長選が行われたことにより、7月の市議会議員補欠選挙後初の議会が10月に行われ、それに併せて今号の発行がひと月遅くなりました。今議会は2年9か月ぶりに定数16人での議会となり、熱く、鋭く、濃厚な議論が多くかわされました。我々議員一同、これから三元代表制の名の下、しっかりと役割を担ってまいります。

(寛智也 記)